京都の民主運動史を語る会 報 슾

2019年5月15日 第 242 号 (隔月刊)

題字 住谷悦治



燎 原 社

(京都の民主運動史を語る会) 代表 井口和起

> 事 務 局

京都市左京区高野東開町 1-23 第三住宅 33-302 井手幸喜 〒 606-8107

tel & fax075 (722) 3823

京都の民主運動史 史跡散步

学城立てり儼として 真理の証 神秘の扉……

比叡は明けたり 鴨の水

抵抗の歴史もともに

京都府立医科大学本部棟

の景色は素晴らしい。 伊良子清白 作詞の学歌にあるように鴨川べりの病床から (明治三 年、 京都府立医専卒の詩

五名が検挙されている。昭和八年には府立医 結成され、 よるとー を綴っている。 大新聞に反戦的随想を掲載したかどで、 この本の巻末に収録されている年表などに 同年の三・一五事件では予科生徒 昭和三年、 社会科学研究会が

戦後の府立医大での学園運動の思い出や歴史 の夢』(刊行委員会発行、二〇〇 二年)には 第二集『比叡は明けたり駆け抜けた青春群像

京都府立医科大学戦後学園運動記念文集

O. Shimatta

組として活躍した。 らが産別傘下の従業員組合を結成、 関連して十数名が検挙されている。 頒布禁止、差押え処置、同年京大滝川事件に 戦後は、 野中弥一助教授 全国初の各層による全学協議会結 (のち民医連右京病院長) 戦闘的労

先頭には末川博総長がスクラムを組んでいて の先頭に立ち、広小路の立命館大学の隊列の 闘った。当時、 合流したのを思い 出す。 して安保闘争や看護婦の夜勤制限運動などを 私は1960年に府職労医大支部の書記と 唯一この建物だけが戦前からの面影を残 附属病院はすべて建て替えられている 弓削経一学長は 安保反対デモ

新村猛の思想形成と満洲事変 ファシズムと戦争に抗う主体の誕生〈中〉

〈2019年度4月例会講演〉戦後京都の部落の変化と同和対策

岩井忠熊氏講演 天皇代替わりと「昭和の日」を考える

総会と懇親会のご案内/会員消息/編集後記

成 瀬 公策 2

奥山 峰 夫

原田 敬一 13

【京都の民主運動史を語る会】年会費(会報代とも)3,000円 郵便振込口座 01060-7-15762 加入者名 燎原社

(湯浅俊彦)

指定され、改修されたもの。(スケッチ=奥西正史)

旧図書館棟が京都府有形文化財に

京都府立医大の本部棟。

思想形成と

- ファシズムと戦争に抗う主体の誕生

成瀬 公策 (名古屋歴史科学研究会・会員

2 修学期における人格形成と読書体験(前号の続き)

③好奇心旺盛な中学生

少年』(日本少年理化学会1918年 科学にも並々ならぬ興味関心を抱いて や論理的思考力を身につけていったの るだけでなく、 通じて、感性を育み知識をゆたかにす 自然科学分野にまで及ぶ幅広い読書を 河出新書1953年)。文学作品や詩、 代作家に啓発さる―」『若き日の読書』 かり知れぬゲーテの恩恵―フランス現 ることを想い描いていた(新村猛「は みふけ、将来の夢として生物学者にな 1884)の遺伝子に関する著作を読 には、進化論やメンデル(1822~ のを心待ちにしていた彼は、中学時代 1月創刊)が毎月本屋の店頭に並ぶ いた。子ども向けの科学雑誌 小学校高学年から中学時代にかけ 聡明な少年らしく自然 自ずと科学的な思考力 『理化

る。

「はないかと考えられる。

「はないかと考えられる。

するとともに、徹底的に生徒の自治を 四卷』朝日新聞社、 り、リベラルな校風であったと言われ も、独立した人格として自主性を尊重 育者としての森は、どの生徒に対して していた 等学校で教鞭を執り、 であり、 を経て東京帝国大学を卒業した数学者 る。金沢生まれの森は、第一高等学校 いう人物が校長を務めていたことによ た森外三郎(1866~1936)と 由主義者としてきわめて信望が厚かっ の京都府立第一中学校は、英国流の自 極めるという時代状況の中で、当時 デモクラシーの思想と運動が隆盛を 1894~1909年第三高 (桑原武夫 『桑原武夫全集第 1968年)。教 英国留学も経験

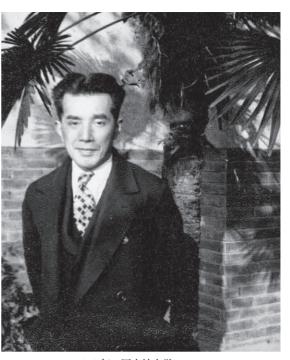
> いか。 ては、 ものと考えられる。まさに彼らにとっ 図書委員を経験しており、各自が忌憚 書館)は、 デモクラシーと自治の精神を涵養した 運営に主体的に携わることを通じて、 定を行うとともに、図書館の日常的な のない意見を出し合い集団的な意思決 猛は、桑原武夫や大塚久雄らとともに、 徒に一任されていたという(同前書)。 徒の手によって運営されていたことは 重んじた。 民主主義の学校だったのではな 図書の購入についても、生 例えば、 蔵書整理から清掃まで生 静思館 (=学校図

陶は、 的に共鳴していたといえよう。 り(『著作集第三巻』初出は けることができた」ことを回顧してお 中学生時代、森の 価値観の形成にも根源的な影響を及ぼ 念を抱き、彼の自由主義思想にも全面 像』1966年10月号)、深く尊敬の たものと推測される。 猛は、 猛自身にとって、 思春期の多感な時期でもある 「好ましい感化を受 森は、 人格の陶冶と 『人物群 森の薫 その後

他方で、猛は、中学二年時級友たに森校長の下で学ぶことになる。しており、猛は幸運なことに中高とも

(中)

した態度をふりかえり、恥ずかしく感 大震災の時の朝鮮人虐殺に当たって示 と高校時代にニコライェフスク事件や ようになるが、それ以前の「中学時代 反対する明確な政治的意思を有する 易に想像できる。さきにも指摘したと にダイレクトに影響されたことは、容 始めていた猛たちも、このような報道 ある。対外的な問題にも関心を向け 国臣民の排外熱が盛んに煽られたので 件がセンセーショナルに報じられ、帝 とのみがいたずらに強調され、この事 コミによって、日本人が殺害されたこ させた一大事件であった。全国のマス いわれる。帝国臣民を一瞬にして震撼 122人もの日本軍民が殺害されたと く敗れた。同年5月24日より収容中の ザンを攻撃したものの、これにあえな 日本軍は、停戦協定を破って、パルチ シベリア出兵し干渉戦争を強行してい 国と足並みを揃え1918年8月より 後、周知のように日本は他の列強諸 催している。ロシア革命(十月革命) ちとともに『尼港記念展示会』を開 して、日本帝国主義による侵略戦争に おり、新村猛は、満洲事変を契機と た。20年3月12日ニコライェフスクの ないではいられなくなった」(新村 1962年9月) と事変後の心情 「民主戦線の思想遺産」『思想の科



1950年・同志社大学にて (新村猛氏の長女・原夏子さん提供)

膨張主義政策にも疑問を呈することな 視していたことは間違いないと思われ 的に述べられているわけでない。 がどのような態度であったのか、 のである。ここでは、 がもたらされたことが示唆されている 彼自身にとって根本的な思想的変化 想的文章の中で、 な意識を共有していたということであ く無条件に肯定してしまう帝国主義的 植民地統治はもとよりさらなる対外的 と同様に、自国の朝鮮や台湾に対する 民族がもっとも優秀であることを前提 し、意識の上ではアジアの中では日本 変化を正直に吐露している。 彼の対外意識も、 朝鮮民族に差別意識を抱き蔑 満洲事変の勃発後 中学・高校時代 一般的な日本人 戦後の回 具体 しか

中学時代の友人である桑原武

時より、 が なかったこと 然として読書 欲は衰えてい 文芸創作の意 路実篤、 哉、 も旺盛であ わかる。 中学二年 武者小 志賀 有島 依

派詩人である。とりわけシェリーに魅 国を代表するあまりにも著名なロマン これに無我夢中になった。 ジ・ゴードン・バイロン (1788) シェリー(1792~1822)、ジョー 蔵書の中から、パーシー・ビッシュ 早熟でしかも英語学習に人一倍励んだ 0) せられて『雲雀に寄せる賦 1 8 2 1 1824)、ジョン・キーツ 学作品ばかりではない。父出の膨大な が、親しんだのは、児童文学や日本文 えのない人生―若い日の思い出―」)。 鳥』も愛読していた。(前掲「かけが 三重吉が創刊した児童文学雑誌『赤 もに、猛は、 武郎など白樺派の小説に熱中するとと (前掲「フランス文学徒の前半生」) 猛 一翻訳を試みたという(前掲「はかり 兄や姉といっしょに鈴木 などの詩集を探し出し、 いずれも英 (1795)や

> 家に啓発さる―」)。 知れぬゲーテの恩恵―フランス現代作

らとともに回

貝

塚

茂

』を発行

ŋ

彼

0

勢と無縁ではなかったといえよう。 強においても、 という(前掲『広辞苑物語』)。 鎌倉の物語など」を「読みあさった」 者たちの書いた擬古文だとか、 を丹念に引きつつ、「江戸時代の国学 典主義」と称して国語辞典や漢和辞典 書はあまり使わず、その代わりに 猛の高等学校受験時には、 父出の日常的な研究姿 受験 受験勉 平安・ 「原

(4)三高の自由な校風の下で

等学校文科丙類に入学している(26 は経験していない。 多くの旧制高校進学者と異なり寮生活 年3月卒業)。自宅から通学したので、 1923年4月に新村猛は、 第三高

る顔ぶれが散見される。 京都大学教授)、朝永振一郎 リア作家)、湯川秀樹(理論物理学者、 立大学教授)、武田麟太郎(プロレタ 名和統一(マルクス経済学者、 策論専攻の経済学者、 古屋大学教授)、大河内一男(社会政 同級生には、真下信一 東京教育大学学長) 東京大学総長)、 (哲学者、 ら錚々た (理論物 大阪市 名

を謳歌したと言われる旧制高校の中で ていたころの時代状況はどうであった 知られていたことは周知のとおりであ 第三高等学校は、 先ずここで猛が高等学校に在籍し とりわけ自由な校風の学校として 学生たちが自

0)

か、

言及しておく。

放 史編二 なった(上野直蔵『同志社百年史 めざして、 はたらきかけ、労働者・学生の連携を 三高等学校や同志社大学の学生らにも であった高山義三、古市春彦らは、 思潮が熱く語られ、 界大戦後におけるデモクラシーの世界 弁論部連合演説会が開催され、 らを弁士に迎え、 注目すべき学生たちの動きとしては、 遡ることになるが、京都市内における、 の時代状況が醸成されていた。時期は たちの動きもにわかに活発化するなど 影響の下で社会主義者やアナーキスト れるジャーナリズムでは「改造」「解 に達するとともに、 作争議の頻発など、 1918年10月佐々木惣一や吉野作造 選運動に続き労働運動の昂揚、 大正後期の全国的な動きとしては、 が盛んに唱道され、 同志社1979年)。 労学会が結成されることと 東京・京都帝国大学 京都帝国大学学生 総合雑誌に代表さ 社会運動が最高潮 ロシア革命の 欧州世 通

大学学生運動史 国大学学生運動史刊行会編 る管理強化も推し進められた(京都帝 生自治の伝統が破壊され、学生に対す ン七教授が馘首され、 は1919~22年) 長 (1865~1937) よる大規模なストライキが起きてい 5月には、第三高等学校では学生に 猛が入学する前年1922年 陸軍軍人であった金子銓太郎 昭和堂1984年)。 指導の下でベテラ 自由の校風や学 『京都帝国 (在任期間 4 校

だことを契機として、学内の社会科学 森外三郎)。このたたかいに取り組ん 校長は静岡高等学校へ転任し後任は を投じる学生も現れたのである 研究会などの活動に参加するだけでな 全面的な勝利を収めたのである(金子 トライキ闘争に立ち上がり、学生側は、 これに抗議する学生たちは団結してス 政治・社会変革の実践的活動に身 (同前

中でも思想的にはもっとも自由闊達な 種多様な思想潮流が鎬を削りつつ、個 未だ少数に止まっていたようである。 進的に政治・社会変革を志す学生は、 あったとの見解を示している (前掲 の社会科学研究会の学生36人が検束さ 25年12月京都帝国大学・同志社大学 時代であったことは間違いない。 たといえよう。伝統ある同校の歴史の 造すべきなのかが真摯に模索されてい 人差があるにしてもどのように社会改 ソビエトを理想とする共産主義まで多 主義、ヒューマニズム、社会民主主義、 粋主義的なナショナリズムから、 の一人にすぎなかったと回想している 彼自身も思想的には平凡な普通の学生 レーニンの思想を積極的に摂取し、 主戦線の思想遺産」)とおり、マルクス、 自由主義あるいは人道主義が主潮」で わけでなく混沌としていたが、やはり いて「どんな思想が優勢だったという における学生の一般的な思想傾向につ (同前書)。当時の同校においては、国 新村猛自身が、 当時の第三高等学校 なお、 民本

> れ、 きたい。 事件が起きていることを付け加えてお でも逮捕者を出したいわゆる京都学連 疑いなどで逮捕され、続いて京都市外 じめての適用となる治安維持法違反の 26年1月よりかれらが内地ではは

に魅了された等の理由を列挙している して、自由を謳歌した時代にフランス マイナスイメージを持っていたのに対 画に惹かれた、軍国主義ドイツという 樺』に掲載されたフランス印象派の絵 ランス語をやろうと思った」、雑誌『白 ツ語を学習していたので、「ぼくはフ が第三高等学校文科乙類に進学しドイ する文科丙類を選択したのは、 んだ道―新村猛氏に聞く―(その1)_ 『日本の科学者』1972年1月)。 (『著作集第三巻』 初出は「科学者の歩 新村猛がフランス語を第一外国語と 兄秀一

アメル は、ギ・ド・モーパッサン(1850 活用したのに対して、他の二人の教官 ポン (1841~1931) を探究した社会学者ギュスタブ・ル・ 規約(フランス語原文) ている。折竹は、教材として国際連盟 1982) (3年時) らの講義を受け ~2年時)、伊吹武彦 (1901~ 河野與一 (1896~1984) (1 錫 フランス語の授業であり、猛は、折竹 (1864~1936)、ジョシュ・デュ 高等学校では、 (1884~1950) (3年間)、 (1884~1966) などの アンリ・ド・レニエ 週34時間の大半は 他、 の著作を 群衆心理

> ため、 文学作品を使ったので、本格的にフラ

争が生じた場合、集団安全保障体制を であろう。 とを目的とした集団安全保障機構であ 後にはアンリ・フレデリック・アミエ できるかもしれない。また、 にも少なからぬ影響を及ぼしたと指摘 の理念が、彼の国際政治観の骨格形成 ルにしたがって解決を図るという創設 確立し、武力によらず国際連盟のルー れたことが語られている。 ンス語の教材として連盟規約が用いら 深かったらしく、別の機会でも、フラ の期待を集めていたのは周知のとおり り、当時世界平和を熱望する国際輿論 世界大戦の惨禍を再び繰り返させない という(前掲「フランス文学徒の前半 ンス近代文学にふれる機会にもなった

が、よりいっそう重要であるように思 の思索を深めていく契機となったこと はどうあるべきなのかなど、 どのような意味があるのか、この世界 けつつ、この社会の中で生きることに 基本的なモノの見方や考え方を身につ 語の講義が語学力の習得に止まらず、 いかと推定する。ここでは、 者)に没頭する契機となったのではな ベルグソンやアミエル(いずれも哲学 彼の講義を受けたことによって、 著作を精力的に翻訳・出版しており、 ベルグソン (1859~19411) の ル (1821~1881) やアンリ・ 国際連盟は、世界人類が第一次 国際紛争を平和裏に解決するこ 猛にとっては、よほど印象 国家間の紛 猛が自己 フランス 河野は、 猛が

れる。

いる。 だいに健康な身体となり高校時代には り、東京などにも遠征試合にでかけ 庭球部に所属し部活動中心の生活を送 中学生のころよりテニスを始め、

体験を積み重ねていたのである。 味読し、深い感銘を受けるという読書 ヨーロッパ全域の代表的な文学作品を 赴くままに、ロシアも含めて幅広く い日の思い出―」)。自己の興味関心の れた(前掲「かけがいのない人生―若 作品によって、 フォン・ゲーテ (1749~1832) 号室』アレクサンドル・プーシュキン チェーホフ(1860~1904)『六 霊』『カラマーゾフの兄弟』アントン・ フスキー (1821~1881) 『悪 の中でもフョードル・ドストイ 文学の作品を多読、乱読しており、 文学、アイルランド演劇などに心惹か 『ファウスト』『詩と真実』などの文学 オネーギン』ヨハン・ヴォルフガング $(1799 {<} 1837)$ 『エブゲーニー この時 (前掲『広辞苑物語』)、西洋近 期には、 若き魂は強く揺さぶら ロシア文学や北

作業になりがち」であるのとは対照的 必要や損得や利害を考慮しながら営む 業が定まってからの読書は、「義務や 大学に入学し、専門領域が決まり、 次のように懐古している。 涯忘れ難く、還暦を十年近く過ぎても、 このような若き日の読書経験は、 青少年時代には「純粋な動機に促 すなわち、 職 生



1968 年・名古屋大学にて (新村猛氏の長女・原夏子さん提供)

最大の悩みは、専攻分野をどうするの

大学に進学するに際して、

新村猛

かという問題であった。この苦悩も、

るのである(同前書)。 深い感動を呼び起こす旨強調されてい のような読書こそが、自身のこころに 読書することが、充分可能であり、そ されて、ひたすら読む悦楽を求めて」

年に際して―」)。ここでは、自己の内 家の反省―ロマン・ローラン生誕百周 自身を省みている(前掲「一平和運動 だ漠然としたものにすぎなかった」と 関心を抱いていたけれども、それはま も青年らしい正義感に促されて強い おかつ「現実の社会や政治にたいして ンに感服し(前掲『広辞苑物語』)、な の中での思索に止まっていたとはい 猛は、ニーチェやベルグソ

> え、 たということに注目したい。 に関わるべきなのか、真剣に悩み始め 理極まる現実の社会や政治とどのよう 自己省察を深めるとともに、 不条

はない。 おり、したがって彼には一切軍隊経験 も徴兵されることなく、敗戦を迎えて であった 受けているが、結果は「第二乙」合格 子と同様に満二十歳の時に徴兵検査を ちなみに猛は、他の同年代の青年男 (前掲「私の自叙伝」)。一度

(5)フランス文学に情熱を 注いだ京都帝大生

校の東洋史学の教官として招聘された 究の屈指の存在となる機縁」とされ 今日に至るまでの「世界のアジア史研 とその後の研究・教育体制の充実は 学の東洋史学の創設 (1907年5月) 抱くようになり(前掲「私の自叙伝」)、 猛も中央アジア においては、世間の脚光を浴びていた。 的理由で断念し(前掲『広辞苑物語』)、 藤湖南 教社で活躍した経験を有する新聞人内 会1997年)。三宅雪嶺とともに政 る(京都大学百年史編集委員会『京都 一度は西域史研究を志したのである。 度にわたって、浄土真宗の大谷光端 は、京都帝国大学文学部史学科である。 学を専攻する事も考えてみたが、 たことは想像に難くないであろう。 偉大な学者父出の存在が無縁でなかっ 大学百年史部局史編1』京都大学後援 した地域を訪れ、この探検記が、関西 1926年4月実際に猛が入学したの 京帝国大学に進学して父出と同じ言語 した学術探検隊が中央アジアを中心と (1876~1948) が計画・派遣 東洋学の研究を重視した京都帝国大 902年から14年にかけて三 (1866 - 1934)(西域史)への憧憬を

> のは、 羽田は、内陸アジアを中心にして新し 僚と深く関わった矢野仁一(1872 交問題にも関心を寄せ言論界や外務官 書を公刊するだけでなく現実の政治外 世中国外交史を専門として多数の学術 されている研究者である。他にも、 た」(同前書)ときわめて高い評価が の材料」を利用する点でも際立ってい 発見の現地出土文献や碑刻など、「生 底した現地語主義に貫かれており、 強靭極まるヨーロッパ流の文献学と徹 の学界を凌駕するほどの研究水準に達 い研究地平を開拓するとともに、 師事しようと考えていたようである。 し、その研究は「印欧言語学に基づく 1970)らが教鞭を執っていた。 羽田亨 あまりにも有名な話である。 (1882\)\(\)1955) \(\)\(\) 欧米 近 新

と現実とのかかわり、すなわち「過去 学者』1977年1月号他)。 村猛氏に聞く― るのである(「科学者の歩んだ道―新 て何になるか」という懐疑に陥ってい からず苦悶し、「過去の歴史を研究し の研究が現在とどうつながるのか」わ テやアミエルの影響を強く受け、学問 される)、猛本人の弁によれば、 ので東洋史の概説的な講義などと推測 野らの講義を受けたものの 史学科に在籍中は、 (その1)」『日本の科 羽田、 (初年度な 内藤、

猛にとって、史料の読解に沈潜することを学究生活の基本として、実証主義とを学究生活の基本として、実証主義は、現実の社会とは接点を持たない無味乾燥な学問と思えてしまったのではは、現実の社会とは接点を持たない無味乾燥な学問と思えてしまったのでは、現実の社会とは接点を持たない無味乾燥な学問と思えてしまったのではないか。「歴史学科の窒息しそうな雰ないか。「歴史学科へ転学したのであっ。

義の劇作家であるピエール・コルネー 受講するとともに、いずれも古典主 学業に全身全霊励んでいる。 紀のフランス古典文学を中心として ヴォーヴナルグ(1715~1747) カル (1623~1662)、ラ・ロシュ 期に至るミシェル・ド・モンテーニュ 講義は、十六世紀晩期より十八世紀前 料購読を受けている。他方で、 文作品(戯曲)を教材として用いた資 ラシーヌ(1639~1699)の韻 ル (1622~1673)、ジャン・ の講義と資料講読を受けて、十七世 1969) 講師、他フランス人講師 (1533 - 1592)文学科では、 (1606~1684)、モリエー ラ・ブリュイエール(1645 太宰施門(1889~1974 初年度にフランス文学概論を (1613~1680)、ジャン 落合太郎(1 リユック・ド・クラピエ 在籍した三年間を通じ ブレス・パス 8 8 太宰か 落合の

> た。 を送せますリストと呼称される著作家たちが主要なテーマとして取り上げられている(前掲「フランス文学徒の前半生」)。この講義は、フランス文学専攻の二年生に受講が課されるが、この講義は、限定されたテーマ(例えば、一人の代表的な作家、一作品、時代を象徴する文学・思想状況など)を深く掘り下げて探究することが目的とされてい方法を修得することが目的とされているだった。

パンジャマン・コンスタン (1767 話を基にして寓話詩を創作した詩人で いる。ラ・フォンテーヌはイソップ寓 究対象に卒業論文の執筆に取り組んで ンテーヌ(1621~1695)を研 学の集大成としてジャン・ド・ラ・フォ から30年1月にかけて大学における勉 していたのは、甚だ興味深い。 のような人物をレポートの対象に選択 ることになる新村猛が、学生時代にこ る。戦後平和運動や政治にも深く関わ 解放の論陣を張ったことで知られて めた自由主義的な政治家であり、 ン主義の小説家にして民衆の支持を集 く―(その1)」。コンスタンは、ロ 掲「科学者の歩んだ道―新村猛氏に聞 時代のレポートではヴォーヴナルグや 強するように」なり(同前書)、大学 た評価に促されて古典文学を熱心に勉 味と次第に深くなった理解と高くなっ このような機会を得て「自発的な興 1830)を取り上げている(前 29年末 奴隷 マ

ある。新村出は、はじめての海外留学の折、1908年12月大英博物館において天草版『伊曽保物語』を書き写しており(前掲『広辞苑はなぜ生まれたかー新村出の生きた軌跡』)、その後もイソップ物語には強い関心を抱いており、卒業論文のテーマ設定に際しても、父出の学問的影響があった可能性も否定できない。30年3月の卒業式には、文学部総代という栄誉を受けており、かなり優秀な成績を収めていたことがかなり優秀な成績を収めていたことがわかる。

世紀の「フランス・ルネッサンス」 に進学する(34年3月修了)とともに、 いう研究テーマで京都帝国大学大学院 業後は、「フランス・ルネッサンス」と と懐かしく回顧しているのである。卒 た(前掲「フランス文学徒の前半生」) の言語と古典文学を一所懸命に勉強す 不朽の価値を有する十七世紀フランス ヨーロッパ諸国の中では、 学を学んだ三年間を通じて、 ア語の習得が必要不可欠であったので たがって研究を進める上でも、 イタリア語の学習も始めている。十六 る機会を得たのは、稀有の幸福であっ イタリア文化の影響が強くみられ、し 晩年においても、 猛は、 最も優れた フランス文 同時代の イタリ は、

絶大な影響を及ぼしていたことが理解読書や勉学においても、父出の存在が選択などの問題はもとより、日常的なら青年期に至る時期においては、進路以上述べてきたように、猛の出生か

る。彼の文化的教養は、青年期におけ 生活を通じて、国境を越えた人文主 地域の文学・思想・哲学などの書物に るとともに、ロシアを含むヨーロッパ にかけて、英語・フランス語を習得す あった。 わるべきなのか真摯に模索する青年で で正義感をもち、政治や社会とどう関 を生きることはどのような意味がある ないと思われる。猛は、自己の内面に のであった点も重要視しなければなら る人格形成の営みと不可分=一体のも 義的な教養を身に付けていったといえ ふれることや授業・講義、その他学生 できる。また、中学生から大学時代 おいては苦悩と煩悶を抱えつつ、人生 か、あるいは激動する時代状況の中

生誕百周年に際して―」)。 ともなかったと述懐している(前掲「一 いても自ら進んで積極的に読書したこ し、このころはプロレタリア文学につ などの活動に関わった形跡は一切ない 京都帝国大学在籍中に社会科学研究会 の限りではあるが、猛が第三高等学校、 青年ではなかったと断言できる。 ぼしたと推測されるが、彼自身は政治 を投じる政治青年が現れ、猛たちの政 を持って政治変革の実践的な活動に身 て、不平等な社会に対して、 治・社会意識にも少なからぬ影響を及 -和運動家の反省―ロマン・ロ なお、大正末から昭和初期にかけ 強い義憤 管見

(以下次号

2019年度4月例会講演

戦後京都の部落の変化と

回和対策

山峰夫氏が講演した。(見出しは編集部)4月20日に行われた、2019年4月例会では、部落問題研究所理事の奥

男がすたると思って引 詰まってのことだと思 でした。わざわざ見え 何かしゃべれという話 えまして、「京都の民 に、昔からよく知って ざいます。 ましてありがとうご き受けました。 い、ここで断ったら、 るということは、 主運動史を語る会」で いる井手幸喜さんが見 本日はおいでいただき 奥山でございます。 3 月 8 日 切羽

を配り、毎回感想とか質問などを書いてから教室に行って、レジュメと資料だったわけですが、行政学と政治学特がから教室に行って、レジュメと資料がある。



いうことにしていたので、正味40分かたら、感想なり質問を書いてもらうとたら、感想なり質問を書いてもらうとかがになっていたので、それを見てあ

奥山 峰夫

元大阪経済法科大学教授(部落問題研究所理事

50分くらいしかしゃべっていないのであるかけです。そうすると他の連中もるわけです。そうすると他の連中もるわけです。そうすると他の連中もるわけです。その場合は別として、30分くらい経ったら、先生がそういうタイミングを見計らって拍手をする人がいるわまっと拍手をする。要するに止めろの場合によりである。

得たもので、じゃ次は来週と言って得たもので、じゃ次は来週と言って終っていたわけです。大体そういうことで授業は短い方がいい。何年も経って記憶に残っているのは、ほとんど「与太話」だけです。今でも覚えていますのは、一般教養の生物学の先生は、京大の理学部を出た当時50歳くらいだったと思うんですが、18、19歳の学生に「岡田茉莉子は、いい女だね」と言う訳です。中味で覚えているのは、行政出来です。中味で覚えているのは、行政と思うんですが、18、19歳の学生に「岡田茉莉子は、いい女だね」と言う法総論で「覊束裁量」と「自由裁量」くらいです。

話をさせていただきたいと思います。以下レジュメ2枚とB4資料1枚で

「部落差別」とは何か、という問題

に「『部落差別』の肥大化」というタに「『部落差別』の肥大化」というターに当時は文部省・総務省・法務省共管の(財)地域改善啓発センター(今はの(財)地域改善啓発センター(今はのが、ます)という所の企画委員会の(財)地域改善啓発センター(今はたっています)という所の企画委員会に参加して「アイユ」という機関誌に参加して「アイユ」という機関誌に参加して「アイユ」という機関誌に参加して「アイユ」という機関誌に参加して「アイユ」というターに

イトルで書いた文章です。中味は、部落差別が典型的に存在していたと考えられる戦前の天皇制の下での部落差別られる戦前の天皇制の下での部落差別とはどういうことだったのかということです。ここに挙げておりますのは、1931年(昭和6年)の第10回水平社全国大会での中央常任委員会提出ので重動方針書に関する件」(草案)です。この文書はたぶん岐阜の北原泰作さんが書かれたのではないかと推測していが書かれたのではないかと推測しています。他の常任委員として出ていた中ます。他の常任委員として出ていた中ます。他の常任委員として出ていた中

で、まず文章を書くような人はいないで、まず文章を書くような人はいないわけです。北原さんが1974年に出した『賤民の後裔』(筑摩書房)という自伝がありますが、その中味をみましても、そうではないかと思います。この「運動方針書に関する件」(草案)後半部分に「特殊部落民の本質」という項目があります。自伝を合わせ読むと、おそらく北原泰作さんが書かれたと、おそらく北原泰作さんが書かれたのではないかと思います。

というものは部落差別ではない、と書 だから人を特定していない「落書き」 落民」が実害を受けるという問題が部 排除されたりということによって「部 絶など。これは戦後もいくつか裁判に なわち「部落差別」を受けているかと 四分野に分けて「特殊部落民の地位 政治的」、「C経済的」、「D教育的」の ことですか」というから「書いてある から電話がかかってきて、「どういう 落差別だと捉えていると思う訳です。 で不公平扱いされたり、隔離されたり、 と、こういうふうなものを挙げている。 は学校での児童取扱上の不公平な扱い 就職差別の問題、「教育的」なことで もなりました。「経済的」なことでは と、「政治的」なことでは入会権の拒 会的」なことでは結婚上とか交際のこ いうことを書いているわけです。「社 =つまりどういうふうな社会的処遇す これらはいずれも部落だということ この「草案」でも、「A社会的」、「B 地域改善啓発センター

と係って部落といわれる地域における 生活のいろんな分野での低位性・劣悪 性。住環境が悪いとか教育水準が低い とか就職が不安定だとかが、部落問題 とか就職が不安定だとかが、部落問題 でいますが、あまり同意する人はいな

戦後の部落問題の全国的な動き

いと思います。国的な動き(主なもの)をみておきた国的な動き(主なもの)をみておきた

同対審から特別措置法へ

て、大衆化していくことになる。1955年に部落解放同盟に改称し落解放全国委員会」を結成される。

すと、そういう動きに対して、 ローガンで、 評 が低く評価されるということで、「勤 の子供教育に熱心な教師は、 闘争と部落が結びつく。要するに部落 の時に和歌山が典型ですが、 いくわけです。これは元東京都立大学 その後、1958年に勤評闘争。 々木隆爾先生の『戦後政治支配と部 は部落差別を助長する」というス (部落問題研究所) 勤評反対闘争に参加して を読みま 勤務評定 勤評反対 自民党

> ています。 策」を導入してくるという分析をされかせないかんということで、「開発政かせないかは着目をして、これは何と

これは部落の実態を踏まえて、 区が対象になっていますが、細かな調 行うわけです。京都の場合は、 アップして精密調査という実態調査を ての基礎調査と全国16地区をピック の基本的方策について」諮問がされ 的及び経済的諸問題を解決するため 議会会長宛に「同和地区に関する社会 がつくられる。これを受けて1961 そういう中で1960年安保国会の中 査をやっています。これをふまえて で、同和対策審議会(同対審)設置法 請願運動を部落解放同盟が展開する。 1965年に同対審が「答申」をする。 この時期、 1962年・63年に役所を通じ 時の内閣総理大臣池田勇人から審 同時に部落解放国策樹立 最終的 錦林地

るということが起こってきます。 う、部落解放運動の分裂が全国化をす 同府県連が排除をされたりするとい です。そういうことで、いくつかの解 た人たちがひどい目に遭わされるわけ まって、その組合選挙の推薦人になっ 文書」であるということになってし それが大阪府・市を巻き込んで「差別 とんでもない話だと思うんですけど、 を書いたら、これは「部落差別」だと 挙の推薦状のハガキに労働条件のこと 員組合の役員選挙問題をめぐって、 作られます。この年の3月に大阪で、 策事業特別措置法(「特別措置法」) いうことで、これもちょっと考えれば いわゆる「矢田事件」が起きる。

李言いました「特別措置法」は「部今言いました「特別措置法」は「部本を3分の2にするということでは、その対象地域に「特別の措置をは、その対象地域に「特別の措置をは、その対象地域に「特別の措置を講ずることを目的」としている。特別の措置を講ずることを目的」としている。特別の措置を講ずるとは、要するにとの方の方とにより」「経済力の培養、住民生活の安定及び福祉の向上等に寄りることを目的」としている。特別の措置を講ずるとは、要するに国の補助率を3分の2に特別措置法」は「部今言いました「特別措置法」は「部



するという法律をつくるわけです。 対象地区に特定した事業を進めやすく する特別措置を講ずることによって、

法という法律に代わり、その法律の中 1982年に地域改善対策特別措置

いうことであります。 個分くらいできるお金をつぎ込んだと 時、1兆5千億円くらいといっていま 割ってみたら、どれだけ個々のところ 89万人、それで16兆円をその数字で で4603地区、「同和関係人口」が せて約16兆円財政を投下した。全国 るわけです。この間、国と地方を合わ 2002年の3月まで、3年間継続す 措置をやる。こういうことになって、 ている事業については、 したから、 にお金が投下されたかわかるかと思う たしか関西国際空港ができた 33年間に関西国際空港を10 財政的特別

けです。

が含まれていたんじゃないかと思うわ 義があったわけですが、そういう問題 いこともない。この綱領制定自体は意

全国部落解放運動連合会(全解連)に 全国連絡会議(正常化連)を結成する 排除された人たちが、1970年に京 ことになります。その後1976年に 都教育文化センターで解放同盟正常化 な問題があって、解放同盟の組織から 特別措置法を実施する中で、 いろん

改組するということになる。 部落問題解決の方向をめぐって

その前に、1960年解放同盟「綱

を図り」がわざわざ一項目入っていま 置法には「周辺地域との一体性の確保 うことがあって、地域改善対策特別措 すが、特定の地域だけが突出するとい には同和ということで、大阪が典型で その後、 対象を絞って、手をつけ

問題は解決しないというふうに読めな

と日本の独占資本を打倒しないと部落 の言い方をすると、アメリカ帝国主義 する元凶」と書いてあるわけです。 の政治的代弁者こそ部落を差別し圧迫 義に従属する日本の独占資本」と「そ ますと60年綱領は、「アメリカ帝国主 領」決定と書いています。簡単に言い

別

非科学的認識による言動があっても、 性からくるマイナスの特徴など)の克 住民の歴史的後進性(同族意識・閉鎖 なることじゃないということ、③部落 すが、要するに部落差別事象がゼロに それが周囲に受け入れられない状態を 正(部落と周辺部との格差是正)、② で四つの指標を挙げている ①格差是 は問題解決を解決した状態ということ 書)を決定する。これの中のポイント ざす部落解放の基本方向」 (綱領的文 つくる。これが非常に重要だと思いま 1987年に全解連が「21世紀をめ ④融合の実現(結果的に国民·市

第242号(2019年5月15日)

民として対等平等の交流を行う)、こ

れらは非常に重要な意味があったと思

います。

書かれてそれが確立したとしても、ま 概念ですから、ある時代の課題となっ された状態というのは、全ての人の人 重要な意義があると思います。 向」の問題解決の四つの指標は非常に の「21世紀をめざす部落解放の基本方 ています。そういうことで1987年 何が差別だか分からないようなことを 達しないという綱領になっています。 す。だからいつまで経ってもゴールに た新たに課題が出てくるということで た人権は、憲法上、あるいは法律上に 承知のように人権というのは歴史的な 権が確立した時だといっています。ご ンドレス」なんです。部落問題が解 を改訂しているわけです。要するに「エ しており、直近では2011年に綱領 「差別」にしてしまっていると私は思っ 部落解放同盟は、 何度か綱領を改訂

議会の意見集約を受けて延長してきた 地域改善対策協議会(地対協)―これ はその後をどうするか。1996年に は是正されたことは間違いない。 告書が出ています。それを見ると格差 をやっています。 地区実態把握等調査」という全国調査 と1993年に総務庁地対室が をどうするかということを地域対策協 何度か継続してきているので、その後 審議会で、「特別法」は「時限法」で は総務庁(現総務省)に設置された― 特別対策を行ってきて、1985年 統計編と解説編の報 「同和 問題

という経過があります。

すね。 です。絶対反対はせいぜい数%なんで ら認めるという、これが合わせて7割 と、親としては反対だが本人が望むな いて、大多数は本人に任せるというの 対反対」の四つの選択肢が用意されて の者が反対すれば反対する」、 れば認める」(消極的賛成)、 としては反対だが、本人の意思が固け うように、本人の意志に任せる」、②「親 問があり、それに対し、①「憲法にい んが部落の人と結婚するといった場 ているわけですが、「あなたの子供さ まり「実態調査」と「意識調査」をやっ いるが、なおまだ課題がある」と。つ ですが、「差別意識は解消されてきて 是正された。ただ具体的には結婚問題 別対策は終結する」、要するに格差は 合、どういう態度をとるか」という設 1996年の「意見具申」 には ③ | 周り

強いというふうには言えないと思いま ういうことだと思うんですが、それと が多くなっている。これは歴史的にそ 上がるにしたがって部落同士というの 婚は70%あまりです。だんだん年齢が 齢が29歳以下の場合は、部落外との結 姻状況というのがありまして、 態調査」でみると夫の年齢別にみた婚 合わせてみると、そんなに差別意識が 夫の年

「対協は「差別意識」が課題だとい

うことで、これは後に、 発推進法という法律につながります。 人権教育·啓

部落問題解決への逆流現

④ 一 絶 うことになり、 宮崎繁樹先生に話を聞いてもらうとい 早くから国際人権法をやっておられた 議会の当時の会長は、明治大学総長で、 だ」との意見が出て、地域改善対策協 をもっとゆっくり聞いてもらうべき 設立からずっとやってきた、是非意見 理事会で、「わが研究所は1948年 意見を述べました。その後、 30分くらいの制約された時間ですが、 理事の東上高志さん、私も出席して、 からは当時の杉之原寿一理事長と常務 て意見を述べました。部落問題研究所 自民党の地域改善対策研究所が招かれ この段階で地域改善対策協議会に、 `全解連、同和会、部落問題研究所 私が何度か連絡をと

研究所の

だからこれの読み方としては、「実

ブックレットを書いたことがあったの

だと言ったのですが、依然として、人々 で、それを差し上げて、ああだ、こう

意識に問題があるんだというふうに

ろが意識には問題があると。私は「そ れたのは分かると同意しました。とこ をしました。宮崎さんは格差が是正さ リバティータワーの総長室に行って話 した。杉之原さんと御茶ノ水駅近くの 同情して、漸く30分だけ面会はできま

んなことはない」と「落書き」事件の

なったわけです。 突っ張って、 結果あのような方針に

と個人の間の人権侵害だけを問題にし そういうのは全然問題にしない。個人 作られることになります。 する趣旨の法律です。そういうものが ている。それを教育で何とかしようと による人権侵害、 企業とか大宗教教団による社会的権力 にする。権力あるいは社会的権力=大 進法が作られるわけです。この場合の すが) 2000年に人権教育・啓発推 一分かりやすいのは冤罪事件ですが、 人権の捉え方は、要するに、私人間の これを受けて、(途中経過は 個人と個人間の問題だけを問題 権力による人権侵害 あり

動きのあらましです。 現象が起こりました。これが全国的 うな法律ができました。こういう逆流 国・地方協力して施策を行うというふ 法」という法律が議員立法で提出され 2016年、突如「部落差別解消推進 差別がなおあると、だからそのために て、全く定義していないのです。部落 奇妙なのは何が部落差別なのかについ て、これが結果成立する。この法律の 特別法」の期限を迎えるわけです。 そういう経過のうえで2002年の

秘書のTさんが度々電話したので

京都における変化と行政の問題

なって、こういうふうなものが出てく

戦後の調査と京都市の対策

どです。 隣保館を設置する、託児所をつくるな 施策を行っています。公衆浴場の設置、 のです。戦前からいくつか

戦後、部落の調査報告がいくつかありますが、それをみると1950年代で部落の家に土台がないというんです。普通の建て方は、コンクリートないし石を置いてその上に柱を建てるんですが、いきなり土の上に柱を建てるんですが、いきなり土の上に柱を建てるんですで早く腐ってくる。「台所」として使用される場所のない家が4割もある。用される場所のない家が4割もある。のがも共用である。列挙すればきりがないですが、低位・劣悪性が書かれているわけです(『京都府同和地区生活実態調査報告』1953年)。

谷悦治総長の2代前の総長)、市会議総長を設置して、市がどういうことを したらいいかということについて答申 を求めています。審議会の委員をみて いますと、委員長が同志社大学の当時 が最をしていた湯浅八郎という人(住

> 議論をして答申をしています。 議論をして答申をしています。 議論をして答申をしています。 議論をして答申をしています。 議論をして答申をしています。 意言次郎、 が及っている。部落解放委員会 が表っている。の後木村京太郎さん がみっている。その後木村京太郎さん が表っている。本名喜三次郎、 がみっている。部落解放委員会 が表言になっています。

その後の問題「オールロマンス」事件と

んでもない、けしからん」という話に 差別」なのかよくわかりません。「と の親分程度です。在日朝鮮人を主人公 んど出てこない。出てくるのは図越組 私も読んでみましたが、日本人はほと た人は、南保健所の臨時職員であった。 いう人が買って、部落解放委員会に「こ た。それを会議で来る福岡の大野甚と 部落を舞台にした小説が掲載されてい に、通俗小説ですが、柳原つまり七条 ていた「オールロマンス」という雑誌 でいう「キオスク」(鉄道弘済会)で売っ にした恋愛小説なので、どこが「部落 んなのがある」と伝えた。これを書い ス」事件が起こっています。これは今 その後1951年に「オールロマン

> れた、 問題を契機にして、部落の低位・劣悪 ていなかったんだろうと思います。こ のです。そんなに大衆的な運動になっ の人から聞いたのですが、授業してい 石田真一先生という方がおられて、こ パンフレットなどには、素晴らしい大 市長を攻める。これがその後書かれた いるからだという理屈で、当時の高山 の事件と和歌山県の県会議員の発言 てくれ」と学校まで呼びにきたという たら、三木さんが「おーい真ちゃん来 衆的闘争かのように書いてあります。 な状態は、「行政が何もしないからだ」 京都でずっと同和教育をやっておら 嵯峨野高校の校長先生をされた 京都市行政が部落を放置して

していくということになっていく。

となかろうと、対行政要求闘争を展開定式化されて、部落差別事件があろう

ということで「差別行政反対闘争」と

先駆けみたいなものですが、その当時くる部落解放同盟の蛮行、暴力事件の今思うと、その後全国的に起こって

の矢田事件ということになります。の矢田事件ということになります。これは馬原鉄男さんに聞きました。馬原さんは、若いときに部落問題立命館大学教授でしたが、当時の「新日本文学」に書いたということで相手にされなかったと言っていたように思います。全国的な問題にはなっていなかった。全国化するのは1969年の大阪の矢田事件ということになります。

不公正への批判職員「選考採用」と

ŋ あり得ることだそうです。地方公務員 を絞っての のお医者さんなんかを採用する場合に が行われる場合は、たとえば公立病院 考採用」というもので、本来「選考採用 ことになります。これはいわゆる「選 す。これを受けてどんどん京都市の職 うな基本的考え方でいくかということ これをみますと各局ごとにどういうふ 員に部落住民が採用されていくという 促進する」というふうに書いてありま 市職員への採用推進」という項目があ を書いてある。職員局のところに、「本 期計画」(第一次試案)を作っています。 1969年11月に「京都市同和対策長 般的に募集するのではなく、 特に京都市の場合注目したいのは、 「同和地区住民の市職員への採用を 「選考採用」ということが

法の第15条には 口として職員を採用していく。 ります。これを受けて、運動団体を窓 て行わなければならない」と書いてあ 人事評価その他の能力の実証に基づい 法律の定めるところにより、 「職員の任用は、 受験成績、 この

うこともみられました。私は は有業者の5割を超えているところが 職員率が出ていますが、 非常に意味があったと思われます。 代に市長選挙に2回出られて、真っ正 この点では井上吉郎さんが1990年 いるとみんな知っているわけです。 が1987年に出ています。 代京都の部落問題』 うことです。このことについては、『現 が、異様な就業構造になってきたとい 役人村」だと言った記憶があるのです て親子で3人公務員になっているとい あります。一家に1人、2人、場合によっ ら30%に増えている。地区ごとの市の ると公務員が激増していることが分か 査と1977年との同調査の比較をす ますが、1970年の同和地区実態調 当初はいろんな意図があって、 から「選考採用」批判をされたのは、 レートには批判しにくかったですね。 京都市の場合何度も調査をしており 部落の場合、公務が2・5%か (部落問題研究所 地区によって 研究所に ・「現代の

> ぼって、 の河内 あって、 た。 す。 てきた。 を買って捕まったとか、ぞろぞろと出 事といいますと清掃局職員が仕事をさ 員 思いますが、公金詐取事件とか、 ます。そういうことと関連していると 分であったということは反省はしてい てくるわけです。私たちの批判が不十 に文句を言っていたという人もいまし 訴えたときに、「民主市政をつくる会 さんが市長選で選考採用は駄目だと ます。それは西三条の人ですが。井上 ればいかんと言っていたのを覚えてい 入るというのが既得権益になるわけで うのがあり、そこで全解連の旗開きが を東へ行ったところにみかげ会館とい 無くなりましたが、 言っていました。それから今は建物が れ から150万円で請け負っている。 の不祥事とかが連発します。 割当が減ったから抗議に行かなけ 特別措置も結局、特権、利権になっ 一郎さん(市職労委員長)の所 放同盟の人がそうしていると 西成へ行って覚せい剤、 聞いていると要すると役所に 左京区の御蔭橋 不祥 市職 麻薬 か

ずっと追及していました。 リストが『ネットワーク京都』 寺園敦史さんというフリージャーナ などで、

行き詰まる解放同盟路線

法上の問題があるにもかかわらず、 選考採用」 の問題は、 地方公務員

条の人から聞いた話ですが、100万

が続いてくると特権になってくる。 いうことで仮にあったとしても、 が不安定だからなんとかせなあかんと

それ

うと思います。大体一時間になったの ことをやって、いろんな活動をやって にする運動というのは行き詰まってく 等といいますか、格差是正だけを目標 加しないわけです。そういう実質的平 利益がなくなってしまったら、誰も参 実的な利益があったが、もはや現実的 行くと、住宅に入れてくれるとかの現 的に「差別」はあるあるといっても人々 書いていました。それは要するに観念 期の7分の1ぐらいの組織しかないと 大阪府連の新聞を読んでいたら、最盛 なくなっているみたいです。解放同盟 ていける。ただ住民があんまり結集し ものは「差別」だということで、やっ 綱領がエンドレスになっていますし、 と、当然と言えば当然ですが何もやる たわけだし、安定的な職業に就けるよ 果としていえば、格差がなくなってき じゃないですかね。そういうことだろ でないところはもうやることがないん でみても知恵者がいるところは新しい の生活と関係ない。前は動員があれば ことがなくなってしまう。解放同盟は 差是正を求める運動は実現してしまう れはそれでいい事ですが、要するに格 うな暮らしになってきたわけです。そ |差別」を探し出して、 がとうございました。 この辺で終りにします。ご清聴あ 行き詰まってきている。 若い人も結集している。 気に入らない 他の府県

電子ブック版し 『燎原』 発売 の合本

CD-ROM 版 各巻頒価 3000 円 (送料共)

- ●第1巻 (創刊号から第50号)
- ●第2巻 (第51号~第100号)
- 3巻 (第 101 号~第 150 号)
- (第 151 号~第 200 号)

*ご希望の方は、事務局まで電話またはFAXでお申し込みください。

TEL&FAX 075-722-3823 (井手方) 京都の民主運動史を語る会

不

岩井忠熊氏講演

二〇一九年四月二九日、京都教育文化センター

代替わりと「昭和の日」を考える

を考える

会場いっぱいになり、「天皇代替わり問題と「昭和の日」を考える京都集ら問題と「昭和の日」を考える京都集える」が始まった。開会あいさつは日本キリスト教団牧師千葉宣義氏。天皇本キリスト教団牧師千葉宣義氏。天皇本キリスト教団牧師千葉宣義氏。天皇本井スト教団牧師千葉宣義氏。天皇本井スト教団牧師千葉宣義氏。天皇本井スト教団牧師千葉宣義氏。天皇本井スト教団牧師千葉宣義氏。天皇本井スト教団牧師千葉宣義氏。天皇本井スト教団牧師千葉宣義氏。天皇本神スト教団牧師千葉宣義氏。天皇本神スト教団牧師千葉宣義氏。

が始まった。

が始まった。

本にが、元気いっぱい。声も大きく、れたが、元気いっぱい。声も大きく、れたが、元気いっぱい。

近代日本の軍国主義と祭祀

1 天皇・陸海軍大元帥

め陸海軍は大きな力を持った。中学校の大元帥であるぞ、とあった。そのた要である。軍人勅諭の中に、朕は汝ら天皇はまず大元帥であったことが重

度程度の軍事訓練をしていた。 としていた。出身の中学校には、軍事教 統を教え、クラス担任もする予備役軍 だった。それに現役の軍人が配属将校 だった。それに現役の軍人が配属将校 としていた。それ以外にも青年訓練所 (のちの青年学校)で軍事教練を受けて いた。在郷軍人会が組織され、月に一 いた。在郷軍人会が組織され、月に一

2 皇室祭祀の近代

在表「近代の皇室祭祀」にあるように、 皇室祭祀と言われるものは多くが近代 皇室祭祀と言われるものは多くが近代 と望に、皇室祭祀が多いのはなぜかと のはなら、公望は、実力のないものは のはながれるものは多くが近代

侵略戦争

ている。日本の戦争はすべて海外で遂行され

Ⅱ 昭和前半

1 テロとクーデター、軍部の関与

血盟団の団員には京都大学の学生も

前と近 単事教 五・ が浸透 いた。

五二五事件は、少数の軍人が首相官邸を襲撃し、首相を殺した浅はかな事件。震え上がったのは政党、政友会や民政党。軍人でやり過ごそうとして斎藤実を首相にした。二二六事件では、麻布の聯隊が武器と弾薬を持ち出し、高橋是清蔵相らを殺した。軍隊が動いた。

2 軍人内閣

軍部の力。

東部の力。

3 アジア民族解放論の虚偽

一九四三年の御前会議で決めた方針 の資源を確保するための領土とすると あり、どこにも植民地解放という文字 の資源を確保するための領土とすると

、ポツダム宣言受諾と国体

て、お前たちに死んでほしい、とお辞大森仙太郎海軍中将に呼び出され

大皇はそれに依拠して降伏を決意した。 すの 国民の意思によると書いてあったので、 大。ポツダム宣言には、天皇の地位はは 大。政府は、ポツダム宣言受諾に際し 大。政府は、ポツダム宣言受諾に際し

儀された。浅はかにも、それでは天皇

■ 戦後日本と日本国憲法

朝鮮戦争まで日本にはたいした軍備はなかった。社会福祉では、戦前と戦はなかった。社会福祉では、東メリカと安保かからん。一方では、アメリカと安保かからん。一方では、アメリカと安保かからん。一方では、アメリカと安保が薄い。防衛大学の卒業生で任官拒否する人が数十人出ている。昔は任官拒否したという話はなかった。日本国憲法と自衛隊の間で矛盾を感じた人たちが任官拒否している。

Ⅳ 「昭和の日」制定

1 現代の日本

でいる。日本の軍事力を強化する方向で進ん

員会での参考人発言。「昭和の日」制定に反対する参議院委

死者数千万人。 日本の戦死者一二五万人、中国の戦

2 象徴天皇の晩年

ていない。それより皇祖皇宗を大事に昭和天皇は、戦争責任をたいして思っ

思っている。戦前の天皇の写真はほと フロックコートを着た写真はあるが。 んど軍服を着ている。欧州訪問の際の

ングでマッカーサーを訪問した。天皇 ニングだった。マッカーサーは皇居を 紙を送っている。 訪問しない。敗けた国の天皇がモーニ マッカーサーを訪問した天皇はモー いつまでも沖縄にいてほしいと手

度居眠りした。その度に侍従の入江が 勲一等の授与式で。ホワイトハウスで するとそれが出てくるらしい。 そこに退位の本当の理由がある。 前に辞めようとするのは理解できるし、 天皇はそれらを知っているから、その 継続の中で病気になり亡くなった。現 なくなったこともあった。その状態の 祀は天皇の私祭。鈴を鳴らすのを止め つついて目覚めさせた。宮中三殿の祭 大統領の晩餐会があった時、天皇が三 お口パクパク、が書かれている。緊張 侍従入江相政の日記には、公務中に 失禁も、

たまま亡くなった。 昭和天皇は戦争責任をあいまいにし

代替わり儀式

伊勢神宮にある。 これらはすべて天皇の私的行為。 宮に勅使を派遣して、退位を報告する。 黄櫨染御胞を着用して行った。伊勢神 に、神は神殿に。三殿に退位の報告を しなければならない。大袈裟のもので、 宮中三殿の賢所に鏡がある。本物は 代々の天皇は神霊殿

> る人々。 職は天皇のポケットマネーで雇ってい

2 即位礼・大嘗祭

ねばならない。 しまう。国民主権の我々はもっと考え 題がみな隠されて、即位礼に覆われて 全部隠されてしまう。怪しげな政治問 は神話の復活で、我々の切実な課題が る。登極令の通りに進行する。これら 朝見の儀で、天皇が祝いの言葉を述べ プターで東京に運び、即位礼に使った。 所で埃を被っていた。自衛隊のヘリコ クライマックス。それまでは京都の御 高御座に天皇が座るのが、 即位礼

【講演後の討論

質疑応答に移った。 時間の熱意ある講演を終えて、

坂本悠一氏「奥平康弘氏の『万世一系 可能であったはずだが、なぜ明仁天 の研究』では退位を認め、 皇はそうしなかったのか。」 行の皇室典範でも摂政を置くことも を改正することを提案している。現 皇室典範

岩井先生「奥平さんの考えはわからな 問題がある場合に置くとの規定であ いが、摂政を置くのは身体や精神に そこまでの問題は昭和天皇も明

某氏「天皇が大元帥であったのはそう だが、学校教育では、先生の学校では

> 岩井先生「中学校には現役の配属将校 少佐がクラス担任もしていたという が、その実態は何か。

以外に、予備役の軍人が教員として ないものだから。京大の初代配属将 くじだった。生徒は言うことをきか 等学校では大佐だった。それは貧乏 校は少将だった。」 た大尉が現役に復して着任した。高 た後、軍縮時代に予備役になってい は少佐だった。彼が大隊長で出征し いた。私の大連の中学校の配属将校

発言が四人からあった。 休憩後、 「戦後課題をめぐる討論」 0)

大八木氏「歴史の証言だ。」

中田光信氏(日本製鉄元徴用工裁判を 支援する会)「『徴用工』問題とは。 要性。天皇は利用されるシステムな 法院判決に至るまでの経過、これま と天皇制、パワポを使って。韓国大 ので、それに踊らされてはいけない。 強制されてするものではない。国と リスト教主義の3つの柱。お祝いは Prideとは自由主義・国際主義・キ 22日も授業案が出ている。 Doshisha いう枠を超えて生きていくことの重 間授業をする。教職員会議は議決機 「日本の差別排外主義・植民地主義 (矜持)。同志社中学は明日から三日 「キリスト教主義学校としての Pride 校長・校務主任も選挙制。10月 (同志社中学校、英語教員)

> 浅井きくこさん「日本軍慰安婦問題と が必要、彼女たちは尊厳に満ちてい は2名生き残っている、慰安婦問題 は。証言集会を続けてきた、台湾で はなく、被害者救済のための判決。」 れなかった植民地主義と差別排外主 祝い金と当時の閣僚が発言、 る、自分の問題として考えてほしい。 被害女性にありがとうと言える社会 た、キムハクスンさんの最初の発言、 が名乗らなければ問題にならなかっ で伝えたいこと、一つは被害者たち なめ。大法院判決は『反日』判決で 義。天皇は戦前戦後も国民統合のか 人のうち11人が死去。戦後も克服さ 定、5億ドルは賠償ではなく独立お 年広島三菱裁判、日鉄裁判原告の素 では日本で裁判していた。一九 ILO29号条約は強制労働否 原告12

名乗り出なかったのは公娼制度が ンができ、電話があった、日本人が 一九九二年一月に慰安婦ホットライ の場所が分かった。城田すずこさん、 まり、のベー三○ヵ所以上の慰安所 た、一九七五年から沖縄で調査が始 れた、一九七四年特別在留許可をとっ 連れてこられ渡嘉敷島で慰安婦にさ ペポンギ、沖縄、一九一四年生まれ、 に広がった、三人の被害情勢の紹介、 なった、サンフランシスコなど世界 二〇一五年以後に大衆的な問題と の少女像、韓国に一〇〇体以上、 九四三年に六〇人の女性と沖縄に 二〇一五年の日韓合意、平和



なかった、差別と排外主義。あったから、結局自分の名前を言え

台湾のウシュウメイさん、アマー、 台湾のウシュウメイさん、アマー、 台湾はもともと多言語多文化社会、 中国の慰安所に連れていかれた、 中国の慰安所に連れていかれた、 市国の慰安所に連れていかれた、 市国の慰安所に連れていかれた、 市国の慰安所に連れていかれた、 市国の慰安所に連れていか出た、 台湾にはテラピーワークショップが対応してきた、 日本政府が謝罪すること、 教科書に掲載して次の世代が考えていくこと、 日本社会の問題として考えてほしい。」

父は一八年に出征し、二〇年にフィれた、五人の男兄弟はすべて出征、は昭和16年に左京区の山間部で生ま中本たか子さん(京都平和遺族会)「私

法九条は戦死者の遺言。」 と力条は戦死者の遺言。」 と力条は戦死者の遺言。」 と力条は戦死者の遺言。」 と力条は戦死者の遺言。」

【発言後、再び討論】

はまた違うのか」はどうなっているのか。中国の問題加藤正信氏「北の共和国の徴用工問題

切畑氏「肝心の最終場面、日韓両政府切畑氏「肝心の最終場面、日韓両政府を記るとでは、一五件の徴用工裁判、最国で確定、一五件の徴用工裁判、最国では昨年提訴が取り下げられた、三菱マテリアルでは三年前に和解、三一〇〇八、各企業、ゼネコンが多い、個人請求権の問題はずっと続く。」

吉武氏「慰安婦問題、韓国での国会議長が、天皇が詫びを入れたら決着する、と発言、それは正しくない、日る、と発言、それは正しくない、日本社会が責任を果たしていくことが本社会が責任を果たしていくことがでおしまいというにニュアンスがあでおしまいというにニュアンスがあるが、それで決着がつくのではない、日本語と記憶という財団が韓国で発足正義と記憶という財団が韓国で発足

中田氏「韓国の過去清算は、政府の不安婦を問題にしている。」 といることが重要。韓国ではベトしていることが重要。韓国ではベト

正をただすという意味。

んだ。」 んだ。」 んだ。」 んだ。」 んだ。」 した。 のが、被害者に謝ってはいない、政 はっているだけ、 のが、被害者に謝ってはいない、政 といる、 のが、被害者に謝ってはいない、政 といるが、 のが、被害者に謝ってはいない、政

れている不思議」
寺田氏「平成天皇が護憲天皇とか言わ

岩佐弁護士(京都憲法会議)「昭和天皇の戦争責任だけで終わりなのか、白井聡氏が国体は天皇からアメリカ白井聡氏が国体は天皇からアメリカに替わったという、判決は運動してに替わったという、判決は運動している、水晶の夜、ドイツの首相は保守系だが、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及している、が、戦争責任はずっと追及して終わる。

東朝時代には国民が政府頑張れと 皇専制時代には国民が政府頑張れと 三い出すと政権の問題、もっと緊張して 捉えるべき、トランプと安倍の会談、 投えるべき、トランプと安倍の会談、 との権の問題、もっと緊張して が、安倍は が、安倍は が、安倍は が、でス

強制だ。」
は制え、
は元二六○○年と同じけが流れた、紀元二六○○年と同じ関税撤廃要求が抜け、安倍の発言だのニュースでは、トランプの農産物のニュースでは、トランプの農産物

倉本頼一氏(京都平和遺族会)「一八日の朝刊、夕刊、朝日・毎日、太刀と勾玉、両陛下最後の地方訪問、新天皇制が両陛下最後の地方訪問、新天皇制が東職だ、平成天皇は昭和天皇の戦争、大縄の人たちは感性と論理で戦っている、国事行為と公的行為を混ぜている、国事行為と公的行為を混ぜているのは問題だ。」

また「文科大臣の五月一日を祝日に発展の権限大、教育を変えなければい居、国家神道を復活させている」閣、国家神道を復活させている」をいた。安倍内閣は神政連の内限の権限大臣の五月一日を祝日に発

解明しなければならない」
の大八木氏「天皇の退位と即位をめぐた八木氏「天皇の退位と即位をめぐた八木氏「天皇の退位と即位をめぐ

今後もお元気でご活躍ください。熱のこもった集会だった。岩井先生、

動史を語る会京都の民主運

総会と懇親会のご案内

2019年度

ح き 6 月 23 日 主

午後2時~ 6時~ 懇親会 総

かもがわる階

ところ

中京区土手町通夷川上ル末丸町



記念講演 **3**075-256-1307 「京都の景観をめぐる運動史」

京都市職員会館 슾

師 晃さん

講

(京都・まちづくり市民会議事務局代表、弁護士、 市民共同法律事務所



市に向けての変貌を強いられているようにさえ見え 都。選挙での大きな争点としてクローズアップされ 暮らし、景観を守る市民運動が展開された都市・京 る。長年まちづくり運動に関わってこられた中島弁 た時もあった。今日市民不在で、 幾度かまち壊しが大きな話題となり、 加速度的な観光都 住まいや

戦後京都の景観論争と市民運動の関わりを語って頂きながら、これから

こに、新村猛さんの長女・原夏子

さんから写真の提供をいただいた。

1937年、「世界文化」の同人とし

曜日」精神にあるのではないか。成

クボーンは、戦前の

「世界文化」・「土

金

そもそも、「燎原」誌の草創期のバッ

編

集

後

記

瀬公策さんの論考は佳境に入る。そ

護士に、

の京都を展望する

[退会]

山口充己さん ん(伏見区) (大山崎町) 片寄邦夫さ

●鑑し窓肉

明け前―呉秀三と精神障害者の100 年」(66分、2018年) その他。 司さん (田園調布学園教授)、映画「夜 原殺傷事件が問いかけるもの」隅河内 ち交流館京都ホール。ミニ講演「相模 題か?あなたはどうする? 行委員会主催 相模原殺傷事件から3年―なにが問 (金) 13時30分~16時30分 ひと・ま 7 月 26 日

お 知らせ

成瀬公策さんに新村猛の思想形成につ いてお話して頂きます。 次回の例会は9月28日 (土)、 7・8月は例会をおこない 14 時 / 、 ません。

実

きるのでは。 強い「猛きこころ」をしのぶこともで いる。ファシズムに言葉を奪われないから12時、午後1時から4時開館して 山中溝町19番地にある。開館日は月・ の新村出記念財団の重山文庫が北区小 纂していた辞典の編集に協力した。そ 戦争協力を拒み、父出(いずる)の編 て猛は、治安維持法違反で逮捕され (国民の祝日は休み)で、午前10時

(さとう)

「燎原」編集部

原稿募集◀

「忘れ得ぬひと」「闘いの記録」「エッ セイ」など、会員のみなさんからの原 稿を募集しています。書き遺しておき たいことをぜひ「燎原」に。テーマ、

字数は問いません。